

# 市政の現状

## (第2分科会)

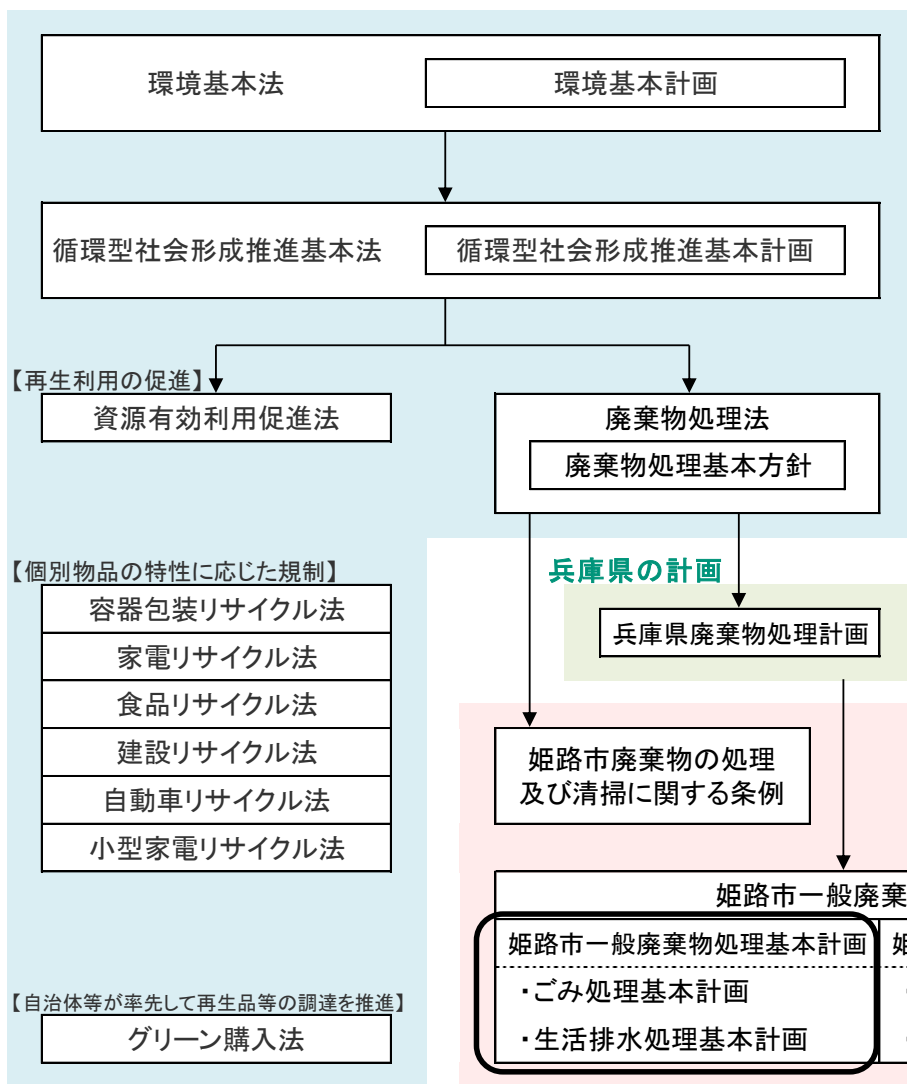
- 1 環境美化について
- 2 農林水産業について
- 3 商工業振興施策について
- 4 観光施策について

# 1 環境美化について

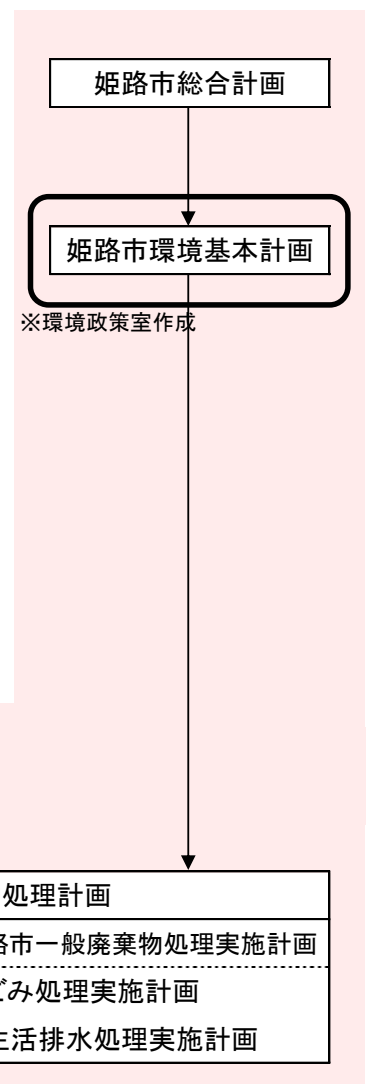
# 環境美化について

【各計画の位置付け】

## 国の法律・計画



## 姫路市の条例・計画



姫路市環境基本計画（計画期間：平成25年度～令和2年度）推進状況

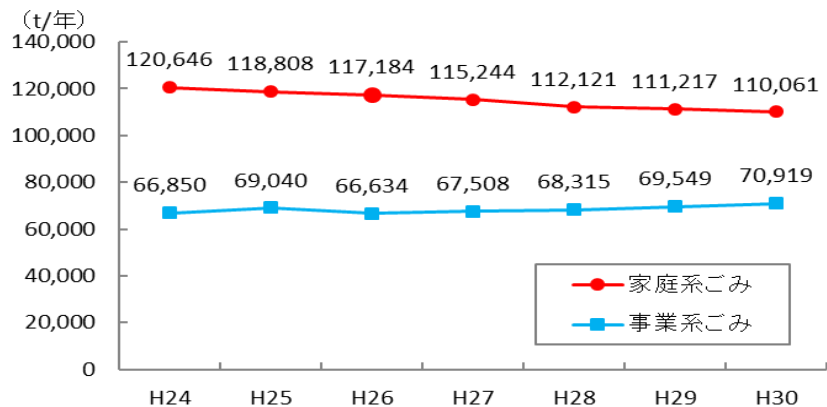
基本目標	推進施策	重点	環境指標	平成29年度状況
市民環境力の向上	環境学習の推進	◎	環境イベント実施回数	70回
			環境フェスティバル来場者数	21,000人
			自然探勝会参加者数	24人
			伊勢自然の里・環境学習センター来場者数	12,013人
			自然観察の森来場者数	22,487人
			野外での活動に興味を持った児童の割合	85.6%
	環境情報の共有	◎	環境政策室ホームページ閲覧件数	18,815件
			環境監視センター見学者数	90人
			広報紙への環境情報掲載回数	50件
環境配慮活動の促進	◎	市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量	109,370t-CO <sub>2</sub>	
		こどもエコクラブ数	32クラブ	
		全日本エコ川柳大賞応募者（句）数	4,316句	
低炭素・循環型社会の構築	低炭素社会の構築	◎	市域の温室効果ガス排出量（平成25年度）	10,887kt-CO <sub>2</sub>
			公共交通機関の乗車人員	165,237人/日
			公用車における低公害車導入数（累計）	33台
			公共施設の再生可能エネルギー導入規模（累計）	2103.3kW
	循環型社会の構築	◎	一般廃棄物の資源化率 ※1	16.0%
			一般廃棄物の最終処分量	14,353t
環境と経済の調和	◎	朝市（農林漁業まつり・市民ふれあい朝市・日曜朝市）への来場者数	50,300人	
		「姫そだち」登録品目数 ※2	74品目	
生活環境の保全	大気環境の保全	◎	大気環境基準等達成状況	87.3%
			法令等に基づく立入検査件数（大気）	44件
			低公害車導入補助件数	11件
	水環境の保全	◎	水環境基準等達成状況	98.4%
			法令等に基づく立入検査件数（水質）	218件
			生活排水処理率	98.3%
			公共下水道の人口普及率	91.7%
	土壌環境の保全	◎	土壌環境基準（ダイオキシン類）達成状況	100%
			地下水環境基準等達成状況	64.9%
	静けさの確保	◎	騒音環境基準等達成状況	100%
			排水性舗装整備面積 ※3	18,845m <sup>2</sup>
	ヒートアイランド対策の推進	◎	熱帯夜数	26日
自然環境との共生	生物多様性の確保	◎	指標生物発見率（身近な生き物調査） ※4	75.4%
	身近な緑の保全と創造	◎	一人あたりの都市公園面積	9.3m <sup>2</sup>
			地域緑化用樹木配布数	2,105本
			民有地緑化助成件数	20件
			ひめじ街路樹アダプト制度の実施路線数	48路線
	身近な水辺の保全と創造	◎	水生生物調査参加者数	432名
自然資源の活用	◎	自然学校の実施校数	69校	
		公的補助を活用した私有林の間伐面積	76.96ha	
快適環境の創出	魅力的な景観の形成	◎	都市景観重要建築物等指定数（累計）	42件
			姫路城周辺のまちなみ修景への支援件数	1件
			違反屋外広告物除却市民活動員人数	41人
			景観イベント参加者数	254人
	歴史文化遺産の保存と活用	◎	姫路城入城者数	1,824,703人
			文化財散策ルートマップ作成地区数（累計）	41地区
			埋蔵文化財センター利用者数	15,097人
	環境美化活動の促進	◎	書写の里・美術工芸館入館者数	41,532人
	◎	まちかど100mクリーンアクション参加事業所数	約630事業所	

姫路市一般廃棄物処理基本計画（計画期間：平成30年度～令和9年度）

基本方針と戦略・施策		基本理念 (目指す都市像)	基本理念の実現に向けた ごみの減量目標		
<b>&lt;基本方針1&gt;</b> 環境問題を意識し、循環型社会にふさわしい暮らしが定着する都市(まち)			3Rが浸透したライフスタイルを実現する市民と 環境配慮型ビジネススタイルを確立した事業者と 循環型社会の実現に向けた基盤づくりに努める行政が それぞれの役割を果たしつつ、3者が協力し合って、 環境に優しく(Ecological)、快適で(Comfortable)、姫路らしい(Original) まちづくりに取り組み、未来に誇れるROO(Resilient)な都市(まち)を目指す。	<b>【重点目標】</b> 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量 (資源物及び集団回収除く) 「食品ロスの削減」、「分別の徹底」など により削減！！	
<b>《 戦略 》</b> 1 発生抑制の推進 2 再使用の推進 3 再生利用の推進 4 環境教育・学習の推進	<b>(主な施策)</b> ▶ 食品ロスの削減、生ごみの減量化、容器包装 廃棄物の削減 ▶ 詰め替え用品の利用、リユース市場の活用 ▶ 分別の徹底、集団回収・店頭回収の利用促進 ▶ 環境問題を考える機会の創出、教育機関等を 通じた環境教育・啓発の充実			(g/人・日) 	
<b>&lt;基本方針2&gt;</b> 環境負荷低減に配慮した企業活動を行う都市(まち)				<b>【目標1】</b> ごみ排出量 家庭系及び事業系ごみの減量化 により削減！！	
<b>《 戦略 》</b> 1 環境にやさしい経済活動の推進 2 環境配慮型生産活動の推進	<b>(主な施策)</b> ▶ 事業系ごみの資源化の促進、排出者責任の 浸透、環境マネジメントシステムの導入促進 ▶ 食品ロスの削減、拡大生産者責任に基づく環 境配慮型製品・サービスの開発・普及・提供			(千t/年) 	
<b>&lt;基本方針3&gt;</b> 適正かつ高度でありながらも市民生活と調和したごみ処理システムを備え た都市(まち)		<b>【目標2】</b> 資源化率 分別の徹底により改善！！			
<b>《 戦略 》</b> 1 循環型社会の実現に向けた取組み の推進 2 周知・啓発活動の充実 3 新たな処理システムの検討 4 適正処理の推進 5 ごみ処理施設の高度化	<b>(主な施策)</b> ▶ 食品ロス削減の取組みの推進、資源物の有効 活用 ▶ 周知・啓発の内容の充実、周知・啓発方法の 拡充 ▶ 分別・収集運搬体制の見直し、戸別収集等の 導入検討、ごみ処理手数料の見直し ▶ ごみの適正排出・処理への誘導、効率的で適 正な処理体制の構築 ▶ 新たな処理施設の研究、市川美化センターの 長寿命化	(%) 			
<b>&lt;基本方針4&gt;</b> 住む人・訪れる人にとって気持ちの良い清潔な都市(まち)					
<b>《 戦略 》</b> 1 きれいなまちづくりの推進 2 3者協働による美化活動の充実	<b>(主な施策)</b> ▶ 不法投棄の防止、まち美化活動の活性化 ▶ 3者協働体制の推進				

## 【ごみ処理実績】

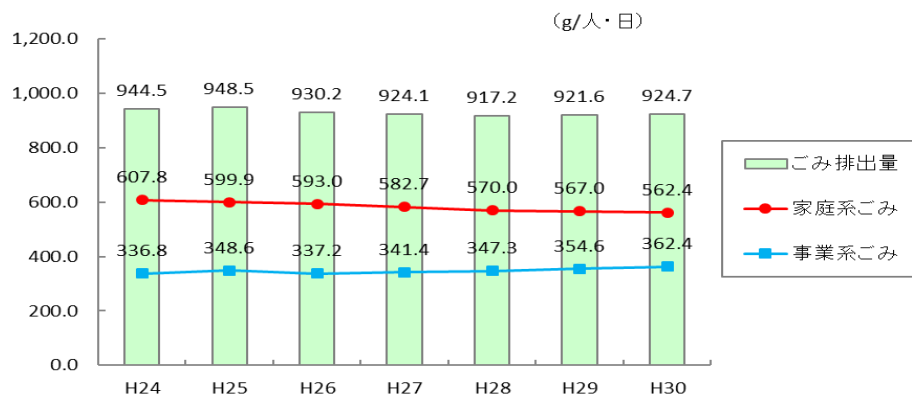
### 1 ごみ排出量



単位:t/年

項目\年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
人口(人)	543,866	542,603	541,389	540,345	538,960	537,409	536,192	
家庭系ごみ	可燃ごみ	91,829	91,532	91,885	91,045	89,486	89,006	87,934
	粗大ごみ	10,379	10,193	9,650	9,637	9,340	9,547	9,964
	資源物	11,934	11,432	10,597	10,071	9,531	9,303	9,027
	集団回収	6,504	5,651	5,053	4,491	3,764	3,361	3,137
	小計	120,646	118,808	117,184	115,244	112,121	111,217	110,061
事業系ごみ	66,850	69,040	66,634	67,508	68,315	69,549	70,919	
ごみ排出量	187,496	187,848	183,818	182,752	180,436	180,766	180,980	

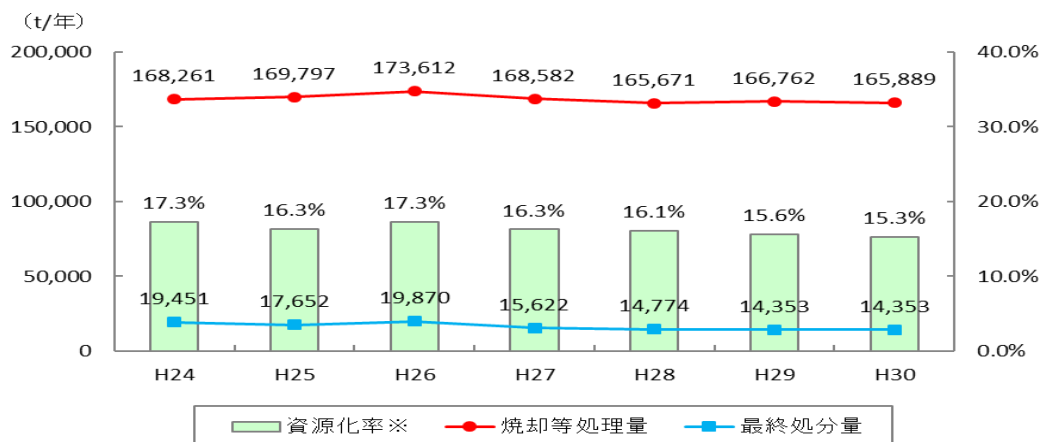
### 2 1人1日当たりのごみ排出量



単位:g/人・日

項目\年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
人口(人)	543,866	542,603	541,389	540,345	538,960	537,409	536,192	
家庭系ごみ	可燃ごみ	462.6	462.2	465.0	460.4	454.9	453.8	449.3
	粗大ごみ	52.3	51.5	48.8	48.7	47.5	48.7	50.9
	資源物	60.1	57.7	53.6	50.9	48.5	47.4	46.1
	集団回収	32.8	28.5	25.6	22.7	19.1	17.1	16.0
	小計	607.8	599.9	593.0	582.7	570.0	567.0	562.4
事業系ごみ	336.8	348.6	337.2	341.4	347.3	354.6	362.4	
ごみ排出量	944.5	948.5	930.2	924.1	917.2	921.6	924.7	

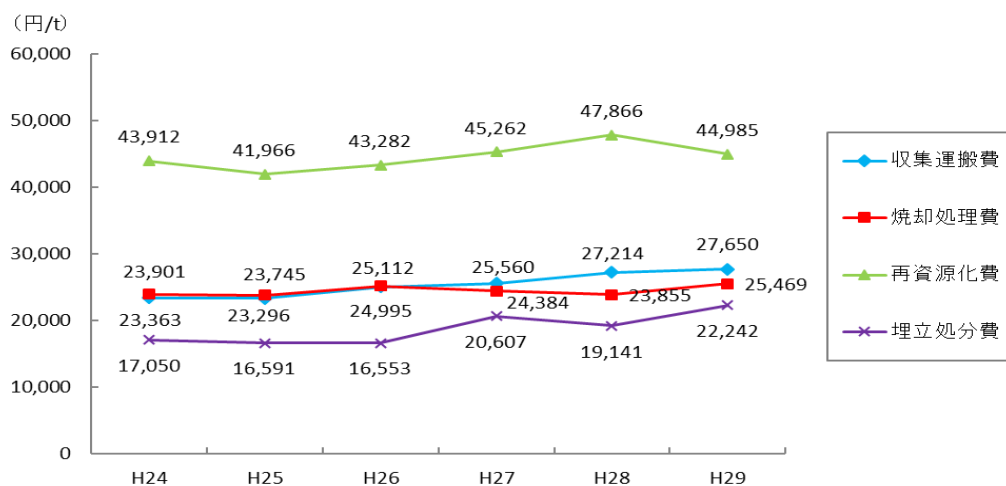
### 3 ごみ処理量



単位:t/年

項目\年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ごみ排出量	187,496	187,848	183,818	182,752	180,436	180,766	180,980
焼却等処理量	168,261	169,797	173,612	168,582	165,671	166,762	165,889
資源化量	32,402	30,711	31,723	29,735	28,967	28,213	27,616
資源化率※	17.3%	16.3%	17.3%	16.3%	16.1%	15.6%	15.3%
最終処分量	19,451	17,652	19,870	15,622	14,774	14,353	14,353

### 4 ごみ処理経費



### ごみ処理原価の推移

単位:円/t

項目\年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
収集運搬費	23,363	23,296	24,995	25,560	27,214	27,650
焼却処理費	23,901	23,745	25,112	24,384	23,855	25,469
再資源化費	43,912	41,966	43,282	45,262	47,866	44,985
埋立処分費	17,050	16,591	16,553	20,607	19,141	22,242

一般廃棄物処理施設一覧

ごみ焼却施設

施設名	所在地	構成市町	処理能力	H30焼却処理実績 (姫路市分のみ)	竣工
市川美化センター	姫路市東郷町	姫路市(旧姫路市)	330t/24h(165t/24h×2基)	59,706.8t	H4.3
エコパークあぼし	姫路市網干区網干浜	姫路市(旧姫路市)	402t/24h(134t/24h×3基)	95,723.6t	H22.3
くれさかクリーンセンター	姫路市夢前町宮置	姫路市(夢前町・香寺町) 福崎町	80t/日(40t/16h×2炉)	9,508.42t	H8.3
にしはりまクリーンセンター	佐用郡佐用町三ツ尾	姫路市(安富町) たつの市(新宮町) 宍粟市 上郡町 佐用町	89t/日(44.5t/24h×2炉)	950.5t	H25.3

最終処分場

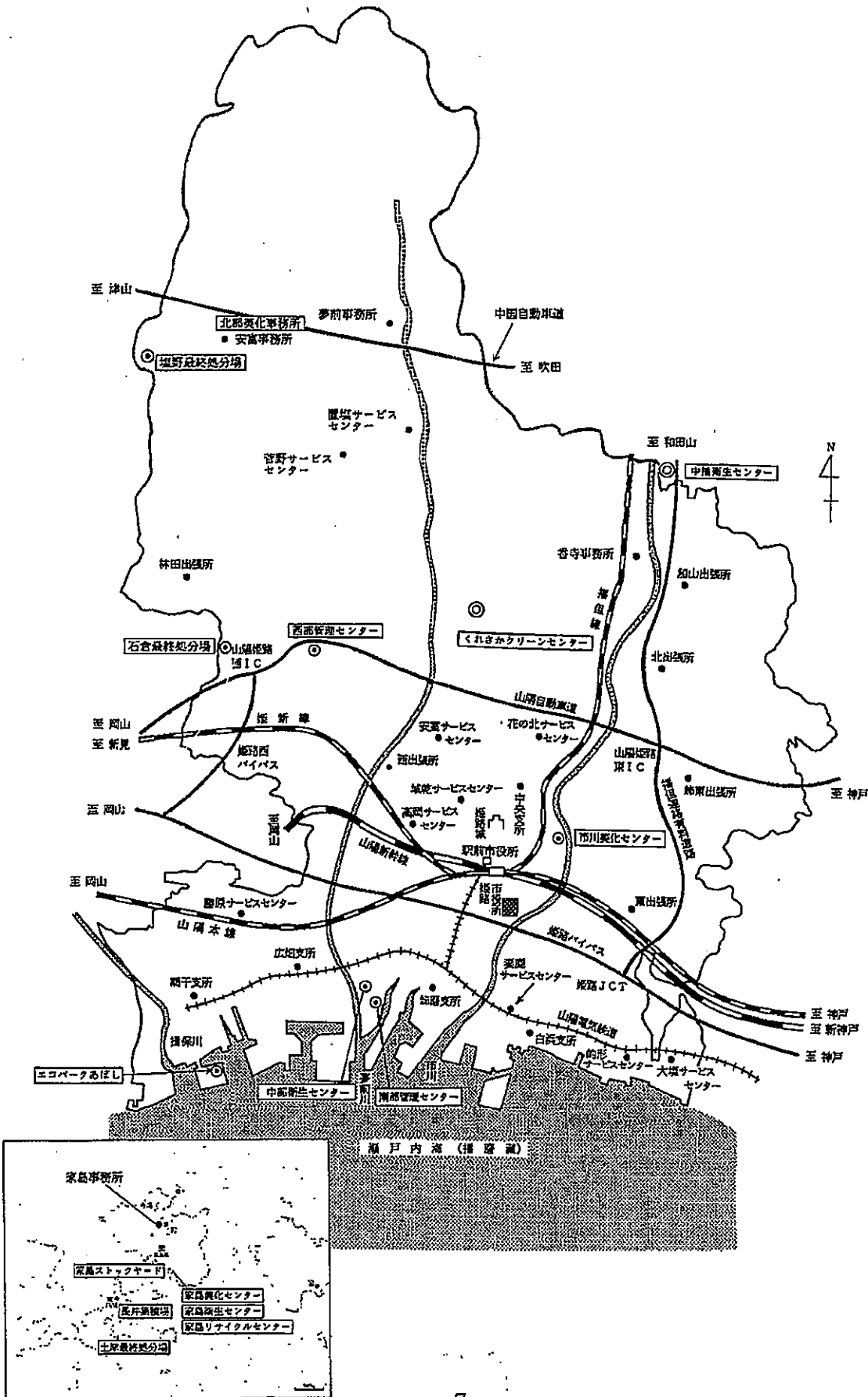
処分場名	所在地	構成市町	埋立容量	埋立量(H30年度実績)	残余容量 (H30年度末)	埋立開始
石倉最終処分場	姫路市石倉	姫路市(旧姫路市 安富町)	184,766㎡	3,812.5t	121,867㎡(66.0%)	H18.4
土岸最終処分場	姫路市家島町坊勢字土岸	姫路市(家島町)	42,500㎡	65.9t	13,549㎡(31.9%)	H5.7
塩野最終処分場	姫路市安富町塩野	姫路市(安富町)	38,842㎡	375.0t	32,805㎡(84.5%)	H10.10
くれさか最終処分場	姫路市夢前町宮置	姫路市(夢前町・香寺町) 福崎町	127,000㎡	1,910.7t	35,069㎡(27.6%)	H8.3

し尿処理施設

施設名	所在地	構成市町	処理能力	H30処理実績 (姫路市分のみ)	竣工
中部衛生センター	姫路市東郷町	姫路市(旧姫路市 安富町)	60KL/日	21,111KL	H28.3
家島衛生センター	姫路市家島町宮	姫路市(家島町)	5KL/日	52KL	H2.9
中播衛生センター	神崎郡福崎町南田原	姫路市(夢前町・香寺町) 福崎町 市川町 神河町	95KL/日	3,157KL	H8.3



姫路市の略図（廃棄物処理施設配置図）



## 2 農林水産業について

## 農林水産業について

### 1 農業

#### ① 姫路市の農業

- ・ 農業産出額は畜産が 352 千万円と最も多く全体の半数近くを占め、次いで米が 259 千万円、野菜が 89 千万円となっている。
- ・ 主に市の北部、西部および東部では水稻や小麦、大豆、小豆、南部ではホウレンソウや葉ネギなどの葉物野菜、トマトなどの作付けが行われている。
- ・ 地域特有の伝統的な野菜であるレンコン、タケノコの生産も盛んに行われている。
- ・ 山間地域では、採卵鶏や肉用牛、乳用牛の飼育が行われており、採卵鶏の羽数は、県内でも有数の規模となっている。
- ・ 姫路ねぎや網干メロン、いちご、いちじく、そば、小豆、たまねぎなど、特産化を目指す作物の栽培が行われている。
- ・ 有害鳥獣による農作物の被害、生活被害が顕著化している。

#### ② 農業の担い手

- ・ 平成 27 年の総農家数は 7,144 戸で、そのうち販売農家は 2,514 戸となっている。

姫路市の農家の状況

(単位：戸)

年度 (平成)	総農家 数	販売農家							自給的 農家
		販売農 家総数	専業 農家	兼業農家			販売農家に占める割合		
				計	第 1 種 兼業農家	第 2 種 兼業農家	専業農家 (%)	兼業農家 (%)	
17	10,655	4,757	874	3,883	122	3,761	18.4	81.6	5,898
22	9,158	3,625	761	2,864	95	2,769	21.0	79.0	5,533
27	7,144	2,514	435	2,079	154	1,925	17.3	82.7	4,630

(農林業センサス、姫路の農林水産業調べ)

- ・ 農業従事者のうち 65 歳以上の占める割合は年々増加傾向にあり、平成 27 年では 45%を超える状況となっている。

農業従事者数（販売農家）に占める高齢農業者、女性農業者等

	平成22年	平成27年	増減
農業従事者数	9,264人(100%)	5,880人(100%)	-3,384人(±0)
うち65歳以上	3,745人(40.4%)	2,719人(46.2%)	-1,026人(+5.8%)
うち女性	4,123人(44.5%)	2,537人(43.1%)	-1,586人(-1.4%)

(農林業センサス調べ)

- ・ 農家や営農組織等を合わせた農業経営体数は減少傾向で推移しているが、耕作面積規模の大きい経営体は増加している。

農業経営体数（経営規模別）

年度 (平成)	経営規模（耕作面積）			計
	0.3ha未満	0.3～3.0ha	3.0ha以上	
17	47	4,719	55	4,821
22	50	3,583	65	3,698
27	27	2,470	70	2,567

(農林業センサス、姫路の農林水産業調べ)

③ 農業生産基盤

- ・ 農業振興地域は、8,031.0haで、そのうち2,690.6haを農用地区域に指定し、ほ場整備などの農業生産基盤の整備を進めてきた。
- ・ 耕作放棄地面積は増加傾向にあり、今後は減少に向けた取組が必要となっている。
- ・ 本市には758箇所のため池がありますが、老朽化しているものもあり、平成30年度では23箇所を要改修ため池に指定している。
- ・ 農地保全及び維持管理の省力化などを目指し、ため池や農業用排水施設、井堰の改修を順次進めている。

④ 農業の取り組み

- ・ 本市では、後継者不足の解消や機械及び施設整備の合理化を図るため、集落営農組織が結成され、水稻をはじめ、麦や大豆などの生産に積極的に取り組み、農地の保全や地域の活性化に努めている。
- ・ 水稻の作付や施設園芸、畜産などの農業を営む認定農業者に対して、経営の安

定化や新規の認定に向けた支援を行っている。

- ・ 従来の農地所有適格法人や農協出資の農業法人の他に、集落営農組織の法人化をはじめ一般企業の農業への参入を進めるなど、多様な担い手の育成と安定した農業経営を推進している。
- ・ 6次産業化による高付加価値化を推進するとともに、販路開拓・新商品開発等6次産業化への取り組みを進めている。
- ・ 姫路の農産物を多くの消費者に購入していただくため、姫路で生産された農産物のブランド「姫そだち」のPRを実施するなど、ブランド化を推進する。
- ・ 平成28年度に本市独自で毎月23・24日を「姫路地産地消の日」として制定し、地産地消の推進及び農水産物の消費拡大に取り組んでいる。
- ・ 農地中間管理機構関連農地整備事業による大区画（1ha程度）ほ場整備やパイプラインの導入により作業の効率化、省力化及び先進的農業の導入を進めている。
- ・ 地震や豪雨による決壊の防止を図るため、ため池の改修、附帯施設の整備の推進及びハザードマップの作成を進めている。
- ・ 地域住民による農道、水路など農業施設の維持管理（草刈りや泥上げなど）、補修、長寿命化のための補修・更新に対する助成を進めている。
- ・ 有害鳥獣の捕獲や防護柵の設置に対し支援している。

## 2 林業

### ① 姫路市の林業

- ・ 本市では、平成 28 年に森林 154ha の間伐と 16.1ha の治山事業を実施しており、6,649 m<sup>3</sup>の木材を生産している。
- ・ 長期にわたる木材価格の低迷により、森林所有者の木材生産意欲は減退し、高齢化もあいまって森林の荒廃が進んでいる。

### ② 林業の担い手

- ・ 林業賃労働者数は平成 28 年現在、57 人となっており、平成 23 年と比較して 1 人増加している。また、60 歳以上の割合は 36.8%と県全体よりも高くなっている。

林業労働の現況

	平成 23 年		平成 28 年	
	林業賃労働者数	うち 60 歳以上	林業賃労働者数	うち 60 歳以上
姫路市	56 人 (100.0%)	19 人 (33.9%)	57 人 (100.0%)	21 人 (36.8%)
兵庫県	944 人 (100.0%)	287 人 (30.4%)	815 人 (100.0%)	230 人 (28.2%)

(兵庫県林業統計書調べ)

- ・ 平成 22 年 11 月の中播磨地域の森林組合合併により、中はりま森林組合が発足し、本市の森林組合員は、平成 30 年 4 月末で 2,704 人となっている。

### ③ 林業生産基盤

- ・ 現在の林道延長は 82km で、作業道等延長 96km と合わせて 178km、公道を含めて算出した林内路網密度は 16.74m/ha となっている。

林内路網密度 (平成 28 年度末)

民有林森林面積	46 年生以上 高齢人工林面積	林道延長	作業道等延長	林内路網 密度
28,903ha	8,387ha	82,062m	96,069m	16.74m/ha

(兵庫県治山課調べ)

※林内路網密度 (m/ha) = (林道+作業道+公道+軽車道) の延長 ÷ 民有林森林面積

#### ④ 林業の取り組み

- ・ 森林の多面的機能の発揮および保全のため、森林整備、治山治水等に係る整備を実施している。
- ・ 森林環境譲与税を活用し、人工林の間伐促進、木材利用の促進、イベントなどによる普及啓発を推進する。藤ノ木山自然公園などを市民の憩いの場として再整備し、里山林の活用に努めている。
- ・ 地域住民や企業、森林ボランティアにより、除間伐や植樹などの森林保全活動が進められている。

### 3 水産業

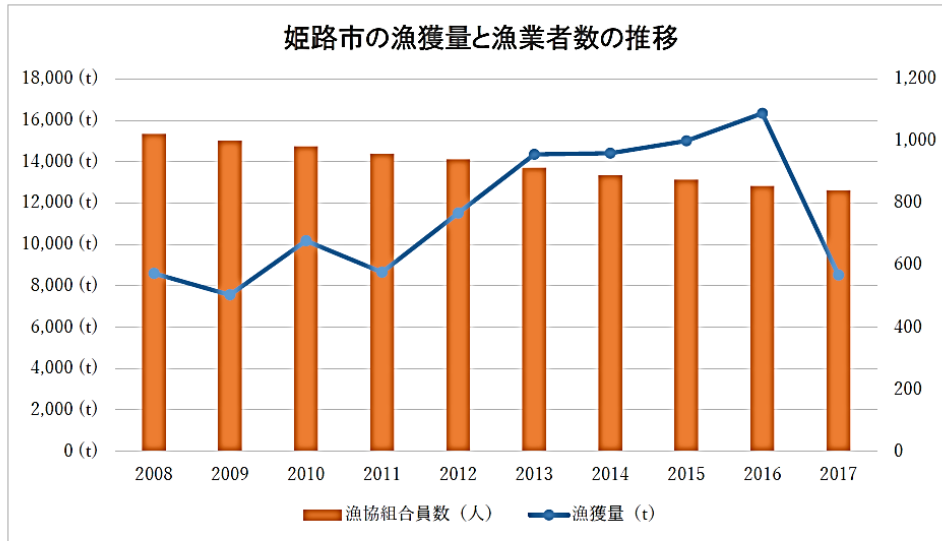
#### ① 姫路市の水産業

- ・ 本市の漁獲量は平成 23 年以降は概ね増加傾向であったが、平成 29 年はイカナゴやカタクチイワシの漁獲量の減少の影響で 8,523 t と大きく減少している。
- ・ 平成 29 年の魚種別漁獲量はカタクチイワシが 1,603 t と最も多く、次いでアジ類 1,435 t、シラス 1,266 t などとなっている。
- ・ 平成 29 年の海面養殖生産量は年間 10,519 t であり、この内ノリが 7,626 t と約 73%を占めている。

#### ② 水産業の担い手

- ・ 本市の漁業就業者数は減少傾向にあり、平成 25 年では計 716 人となっている。また、65 歳以上の漁業就業者数は平成 20 年までは増加しており、平成 25 年で減少しているものの漁業就業者数の約 24%を占めており、高齢化が進行している。
- ・ 平成 25 年の海面漁業・養殖漁業の経営体数は 461 であり、減少傾向にある。

- ・ 漁業協同組合は、市内に 3 組合ある。



(統計情報事務所、水産漁港課調べ)

### ③ 水産生産基盤

- ・ 本市は県管理の妻鹿漁港及び家島漁港と市管理の坊勢漁港を有している。
- ・ 漁業活動の効率化、就業環境の向上と漁船の安全係留の確保のため、坊勢漁港の整備を進めている。

### ④ 水産業の取り組み

- ・ 本市では、「つくり育てる漁業」を目指し、ガザミ、クルマエビ、ヒラメ、マコガレイ、カサゴなどを対象魚種として栽培漁業を積極的に行うとともに、貝類の種苗放流や漁礁の整備を行い、水産資源の増殖と養殖業の振興を図っている。
- ・ 平成 18 年度から離島漁業再生支援交付金による取組を進めており、海底清掃や「築いそ」の設置、直売イベントなどの漁場の生産力の向上や集落の創意工夫を生かした新たな取り組みなどの漁業再生活動への支援を通じて離島漁業の再生及び離島の水産業・漁村が発揮する多面的機能の維持・増進を図っている。
- ・ 担い手の育成については、近代的な漁業設備導入を支援することで経営基盤の強化や経営の安定化を図るとともに、市民ニーズに対応できる経営感覚を持つ



漁業者を育成するため、直売会や漁業体験イベントの実施を支援している。

- ・ 地産地消については、魚やカキなどの海産物直売イベント等即売会を通じて地元水産物を市民に広くPRするとともに、水産物の入手方法や調理方法、姫路でのブランド水産物などを紹介した姫路水産物PR冊子を作成・配布し、ブランド化の推進などの取組を行っている。
- ・ 姫路市漁業協同組合は「姫路海産物とれとれ直売所」家島漁業協同組合は「家島とれとれ昼市」、坊勢漁業協同組合は「JFぼうぜ姫路とれとれ市場」を妻鹿漁港フィッシュモール内において開設し、一般消費者に対して直接、新鮮な魚介類を販売している。
- ・ また、坊勢漁業協同組合では漁業啓発を促進するため、妻鹿漁港フィッシュモールの拠点に漁業体験見学船の運営を行っている。

### 3 商工業振興施策について

# 商工業振興施策について

令和元年8月

姫路市 産業局 商工労働部



# 工業統計の数値(平成29年) (従業者数4人以上の事業所)

- ①事業所数
  - ・992事業所(対前年比7.7%減少)
  - ・10年前の平成19年に比べ、309事業所減少
  - ・昭和56年(1,946事業所)をピークに減少傾向
  
- ②従業者数
  - ・46,842人(対前年比4.9%増加)
  - ・10年前の平成19年に比べ、117人減少
  
- ③製造品出荷額等
  - ・2兆2,332億円(対前年比5.0%減少)
  - ・10年前の平成19年に比べ、約1,523億円減少
    - ・産業中分類別構成比は、鉄鋼業が25.2%と最も高い。次いで電機機械21.0%、化学工業15.5%、業務用機械6.5%と続く。

## 商業統計の数値(平成28年)

### ①年間商品販売額(卸売+小売)

・1兆342億円(対前回「平成24年」比14.3%増加)

### ②事業所数(卸売+小売)

・5,044事業所(対前回「平成24年」比4.2%増加)

### ③従業者数(卸売+小売)

40,830人(対前回「平成24年」比13.6%増加)

注)平成24年、平成28年のいずれの数値も「経済センサスー活動調査」における  
産業別集計結果による

# 全国における姫路市の商工業の実力

工業 (従業者4人以上)											
製造品出荷額等		16位		事業所数		18位		従業者数		15位	
順位	都市名	(百万円)	順位	都市名		順位	都市名	(人)			
1	豊田市	14,246,272	1	東京都23区	8,256	1	東京都23区	139,203			
2	横浜市	3,714,270	2	大阪市	5,142	2	大阪市	114,667			
3	川崎市	3,593,788	3	名古屋市	3,695	3	豊田市	114,528			
4	市原市	3,593,010	4	横浜市	2,345	4	名古屋市	96,624			
5	大阪市	3,557,798	5	東大阪市	2,332	5	横浜市	88,058			
6	倉敷市	3,385,436	6	京都市	2,299	6	神戸市	68,380			
7	名古屋市	3,363,554	7	浜松市	1,956	7	浜松市	68,341			
8	堺市	3,247,070	8	神戸市	1,522	8	京都市	63,892			
9	神戸市	3,213,485	9	静岡市	1,393	9	広島市	54,674			
10	広島市	3,018,016	10	堺市	1,381	10	堺市	50,780			
11	東京都23区	2,853,578	11	川口市	1,325	11	刈谷市	48,578			
12	太田市	2,842,150	12	八尾市	1,320	12	東大阪市	47,531			
13	京都市	2,629,516	13	福山市	1,210	13	北九州市	47,376			
14	四日市市	2,573,518	14	広島市	1,201	14	川崎市	47,240			
15	大分市	2,243,313	15	川崎市	1,184	15	姫路市	46,842			
16	姫路市	2,233,199	16	新潟市	1,019	16	安城市	46,402			
17	宇都宮市	2,122,209	17	北九州市	997	17	静岡市	46,385			
18	安城市	2,109,889	18	姫路市	992	18	岡崎市	43,892			
19	岡崎市	2,075,637	19	さいたま市	908	19	太田市	43,276			
20	北九州市	2,058,316	20	札幌市	892	20	富山市	42,109			
21	福山市	1,937,540	21	相模原市	889	21	福山市	39,411			
22	苅田町	1,910,128	22	豊田市	835	22	西尾市	36,532			
23	静岡市	1,830,915	23	一宮市	803	23	新潟市	36,397			
24	浜松市	1,803,602	24	富士市	799	24	富士市	35,985			
25	田原市	1,784,973	25	富山市	793	25	倉敷市	35,950			
26	刈谷市	1,600,564	26	岡山市	793	26	相模原市	35,833			
27	磐田市	1,567,485	26	太田市	748	27	小牧市	35,455			
28	湖西市	1,555,980	28	金沢市	748	28	磐田市	35,388			
29	西尾市	1,508,836	29	倉敷市	746	29	四日市市	34,107			
30	藤沢市	1,427,612	30	福岡市	744	30	尼崎市	33,261			

平成29年6月1日現在

経済産業省  
「平成29年工業統計調査」

※前回の平成26年工業統計調査における  
姫路市の製造品出荷額等は  
**2,408,740(百万円)**で全国順位で  
第15位でした

平成29年6月1日現在

経済産業省  
「平成29年工業統計調査」

※前回の平成26年工業統計調査における  
姫路市の事業所数は**1,055**で  
全国順位で第17位でした

平成29年6月1日現在

経済産業省  
「平成29年工業統計調査」

※前回の平成26年工業統計調査における  
姫路市の従業者数は**46,540**人で  
全国順位で第15位でした

商業 (卸売業+小売業)											
年間商品販売額		31位		事業所数		23位		従業者数		25位	
順位	都市名	(百万円)	順位	都市名		順位	都市名	(人)			
1	東京都23区	178,216,243	1	東京都23区	86,582	1	東京都23区	1,239,446			
2	大阪市	41,563,672	2	大阪市	36,335	2	大阪市	404,846			
3	名古屋市	27,359,455	3	名古屋市	24,144	3	名古屋市	260,130			
4	福岡市	13,743,253	4	横浜市	20,225	4	横浜市	227,556			
5	横浜市	10,699,590	5	福岡市	15,887	5	福岡市	155,378			
6	札幌市	9,956,011	6	京都市	14,428	6	札幌市	153,927			
7	仙台市	9,124,047	7	札幌市	14,167	7	京都市	136,063			
8	広島市	7,844,158	8	神戸市	12,808	8	神戸市	118,372			
9	神戸市	5,648,316	9	広島市	11,631	9	広島市	109,489			
10	京都市	5,363,218	10	仙台市	11,193	10	仙台市	108,514			
11	さいたま市	5,218,154	11	北九州市	8,993	11	さいたま市	92,141			
12	千葉市	6,162,302	12	さいたま市	8,125	12	川崎市	74,184			
13	新潟市	3,231,880	13	新潟市	8,025	13	新潟市	68,805			
14	岡山市	3,194,080	14	新潟市	7,985	14	北九州市	68,712			
15	高崎市	3,057,010	15	浜松市	7,615	15	千葉市	66,932			
16	川崎市	3,023,201	16	岡山市	6,795	16	岡山市	62,724			
17	静岡市	2,969,190	17	川崎市	6,694	17	静岡市	61,885			
18	浜松市	2,856,795	18	熊本市	6,114	18	浜松市	58,204			
19	北九州市	2,696,705	19	鹿児島市	6,103	19	鹿児島市	53,636			
20	金沢市	2,666,298	20	千葉市	5,861	20	熊本市	53,434			
21	宇都宮市	2,614,427	21	金沢市	5,502	21	堺市	48,614			
22	鹿児島市	2,604,953	22	堺市	5,104	22	金沢市	45,948			
23	高松市	2,397,282	23	姫路市	5,044	23	宇都宮市	44,375			
24	熊本市	2,292,056	24	高松市	4,862	24	東大阪市	41,768			
25	豊田市	2,275,749	25	宇都宮市	4,794	25	姫路市	40,830			
26	吹田市	1,919,875	26	福山市	4,601	26	高松市	40,595			
27	東大阪市	1,797,420	27	富山市	4,469	27	相模原市	40,395			
28	堺市	1,754,618	28	岐阜市	4,395	28	松山市	38,513			
29	富山市	1,734,552	29	松山市	4,327	29	福山市	38,444			
30	長野市	1,685,006	30	長崎市	4,303	30	大分市	37,483			
31	姫路市	1,034,235									

平成28年7月1日現在

総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査 産業別集計 卸売業、小売業に関する集計」

# 企業誘致活動について

新規企業の誘致や地元企業の拡張などを目的として、工場立地促進制度やトップセールス等による企業誘致活動に取り組んでいる

## ○工場立地促進制度の活用

### 工場立地促進条例を改正

#### ・対象要件の緩和

中小企業の投下固定資産総額(5千万円→3千万円)(H26)

#### ・優遇措置の拡充

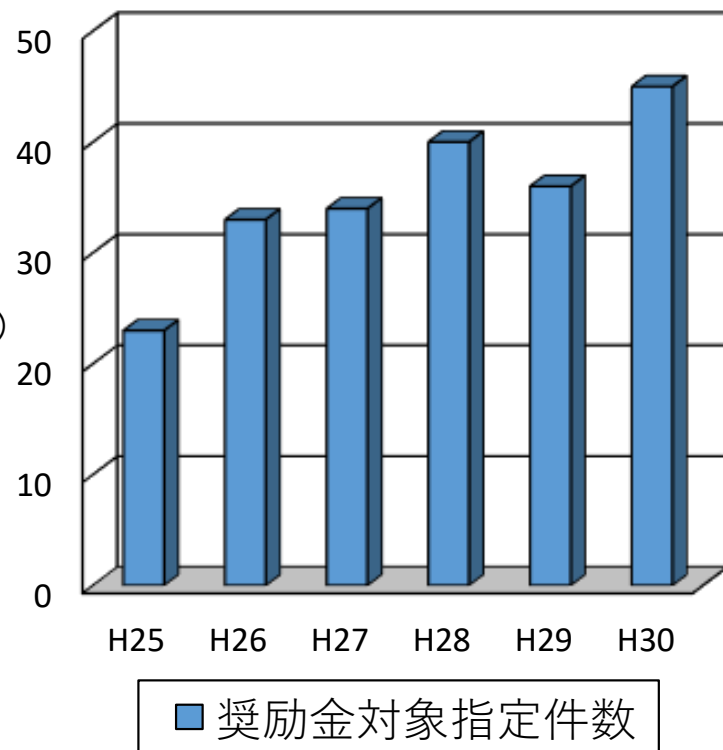
事業所奨励金・工場設置奨励金の期間延長(3年間→6年間)(H27)

主力製造工場(マザー工場)への事業所奨励金・工場設置奨励金加算

大企業1/10加算(6年間)(H28)

中小企業1/2加算(3年間)(H28)

- ↓
- ◎景気回復、国内での設備投資意欲の高まりと相まって、指定件数が着実に増加
  - ◎30年度指定件数=45件は制度発足以来最多(29年度36件、31年度も既に7件指定済)
  - ◎今後も、市内企業の増設・移設への支援に加え、企業誘致活動により市内への新規企業の立地を目指す



## ○科学技術基盤の利用促進《科学技術基盤活用促進補助金》

播磨科学公園都市における高度技術研究施設や研究成果に関する情報提供とともに、放射光施設や県内のスーパーコンピュータの利用企業に対し経費の一部を助成するなど、市内企業による産業利用の促進を図っている

- **対象企業**

市内に事業所を持つ法人又は個人

- **内 容**

「SPring-8」「ニュースバル」「FOCUSスパコン」を利用して行う研究・技術開発経費に対して、補助金を交付

- **補助対象経費**

放射光施設使用料、スパコン利用料  
その他それに伴う研究資材経費

- **補助率**

対象経費の1/2(100万円を上限)





# 新産業の創出と産官学協働の促進

## ○産官学協働の促進

地域における産業の高度化と新規産業の創出を促進するため、地元大学、経済団体、行政等がそれぞれの役割を果たすとともに、組織間の連携強化を図っている

### ・「企業・大学・学生マッチング in HIMEJI」の開催

播磨地域における企業、大学、行政の集積を活かし、産官学が連携して、兵庫県立大学姫路工学キャンパスでマッチング事業を年1回開催

### ・「姫路ものづくり支援センター」の設置

平成17年5月23日、姫路商工会議所2階にオープン  
(姫路商工会議所と姫路市の共同設置)  
ディレクター3名(電機、精密機械、鉄鋼分野)が常駐し、製造開発をはじめ、補助金申請など、様々な相談にワンストップで対応

29年度相談・指導総数:延べ961人

30年度相談・指導総数:延べ995人



# 新産業の創出と産官学協働の促進

## ○ものづくりに対する支援(地域のものづくり強化に向け資金面での支援)

### ● ものづくりIT化推進事業

市内製造業者が、生産性の向上、業務の効率化及び経費節減等の自社の経営課題の解決のためにITを導入する場合、その導入に係る経費の一部を助成

- ①対象者:市内に主たる事業所を有し、製造業に属する事業を行う中小企業者
- ②補助率:1/2(100万円を上限)
- ③対象経費:設備購入、既設設備の改修・改良、システム導入など

### ● ものづくり開発奨励事業

中小企業者が開発した新製品又は新技術(電機、化学、機械等の分野)について、審査を行い、優秀と認められたものについて、開発費の一部を助成

- ①対象者:市内の中小企業者
- ②補助額:1件につき上限100万円
- ③受付期間:11月1日から12月27日まで

### ● ものづくり販路拡大支援事業

中小企業者が、国内・海外で開催される全国規模の見本市へ出展する場合、その経費の一部を助成

- ①対象者:市内に主たる事業所を有し、製造業に属する事業を行う中小企業者
- ②対象経費:出展料、小間料、通訳及び現地説明員に係る経費など
- ③補助率:1/2(国内:40万円、海外:100万円を限度)
- ④補助対象事業:国内・海外で開催される全国規模の見本市への出展



# がんばる商店街への支援

- **にぎわいイベントへの支援**

商店街の売り出しやにぎわいづくりを目的としたイベント開催に要する経費の一部を支援

(事業費の10~20%以内、限度額100万円)

- **商店街のイメージアップへの支援**

タペストリーやパンフレット作成等、商店街のイメージアップを図る事業に係る費用の一部を支援

(事業費の20%以内、限度額30万円)

- **公共的施設・共同施設等の設置・撤去・改修への支援**

アーケードなどの公共的施設や統一看板などの共同施設を新設・撤去・改修する際の費用の一部を支援

(事業費の10~40%以内、限度額100~2,500万円 ※事業内容により異なる)

# 創業・起業する方への支援

- **中心市街地空き店舗対策事業**

中心市街地の商店街で新たに店舗を開店する場合に、賃料等の一部を支援  
(対象店舗: 中心市街地内の商店街で3ヶ月以上空いている店舗)  
(賃料の30%以内(1年目)、20%以内(2年目)、限度額7万円、  
及び内装工事費の50%以内、限度額50万円)

- **まちなか・商店街創業支援事業**

創業セミナーなどの特定創業支援事業による支援を受けた方が、中心市街地や商店街で創業または第二創業により新たに店舗を開店する場合に、経費の一部を支援  
(内装工事費等の50%以内、限度額50万円)

- **空き店舗等の活用によるまちなか・商店街再生事業**

対象となる地域において、空き店舗等を活用(リノベーション等)し、地域と連携してエリア再生を目指す新たな取組みを支援  
(事業費の50%以内、限度額100万円)

# 中心市街地のにぎわいの創出

## ◆大手前通りエリア魅力向上の推進

整備完了後の大手前通りにおいて、人が滞留し多様なアクティビティが行われる、魅力的な空間を目指して、沿道関係者や地域の方々とともにエリア価値の向上への取組み

- ・地元推進組織の設立
- ・将来ビジョンの策定
- ・利活用の社会実験
- ・利活用マネジメントの検討 など

## ◆姫路駅北にぎわい交流広場の運営

城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場

- ・イベントの開催支援、利用促進
- ・ハロウィン装飾の実施
- ・クリスマスイルミネーションの実施 など

## ◆中心市街地におけるWi-Fi環境の整備

外国人観光客の利便性及び中心市街地の回遊性向上を目指し、姫路駅や姫路城周辺で整備済みの「HIMEJI\_Wi-Fi」について、商店街などにアクセスポイントを増設





# クルーズへの取り組み

## ◆ポートセールス活動の推進

姫路港ポートセールス推進協議会によるクルーズ客船の誘致強化

## ◆姫路港開港60周年記念事業の実施

・「姫路みなと祭海上花火大会」

7月27日 来場者 約8万人

・客船歓送迎イベント、記念クルーズ、帆船誘致



圓教寺での写経体験



ダイヤモンド・プリンセス(31年4月入港)



茶道体験

# 雇用の促進についての取り組み

## ◆姫路しごと支援センターの運営

若者から高齢者まで幅広い方が利用できる就職のための総合相談窓口。ハローワークステーション姫路と同一フロアで運営し、相互に連携することでより効果的な就労支援を実施

### 【実施内容】

- ・ キャリアカウンセリング  
（就職活動の方法や履歴書の書き方など）
- ・ キャリアインサイト（適職診断）
- ・ 就労支援セミナー、パソコン講座
- ・ 就職面接会等の情報提供
- ・ 就労支援プログラムの作成

### 【設置場所】



姫路市駅前町265 姫路KTビル3F

利用時間 月～金【10:00～18:00】

休日 土・日・祝・年末・年始



## ◆雇用相談の実施、雇用情報の提供

雇用アドバイザーによる行政の施策紹介や雇用相談の実施

- **若者の就活・移住定住の方策について**
- **オフィス系企業の誘致について**
- **6次産業化企業誘致について**
- **大手前通りエリア魅力向上推進事業について**



- 今後も、地域経済の活性化と雇用の安定を図るため、「経済振興ビジョン」に基づいて、より一層、産官学の協働を推し進め、新規企業の立地や既存産業の拡充並びに産業技術の高度化を促進するとともに、中小企業の経営基盤の強化、新製品・新技術の開発支援、商店街の賑わいづくり支援等の施策を積極的に展開して参りたいと考えています。

## 4 観光施策について



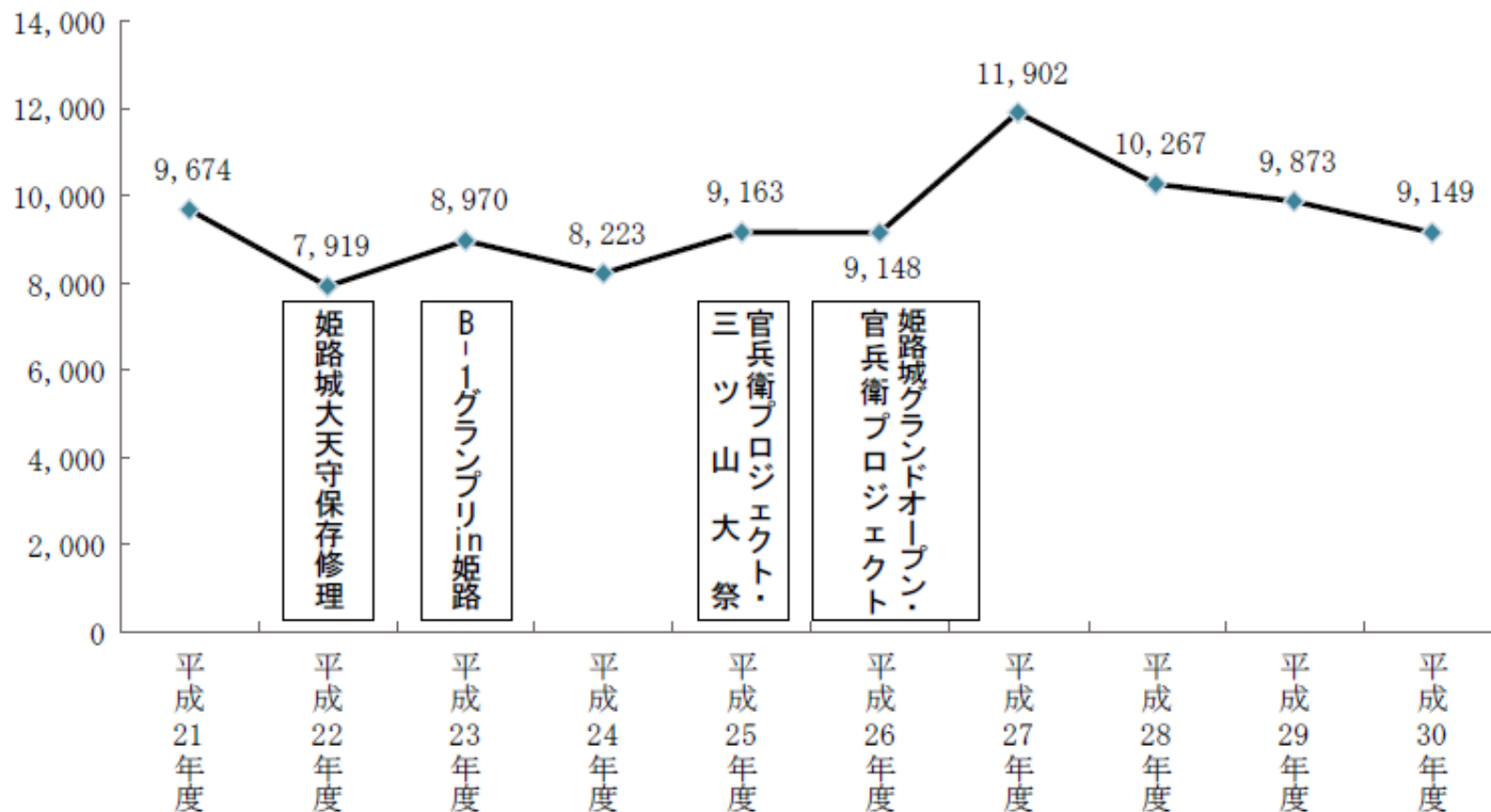
# 観光施策について

2019年8月30日

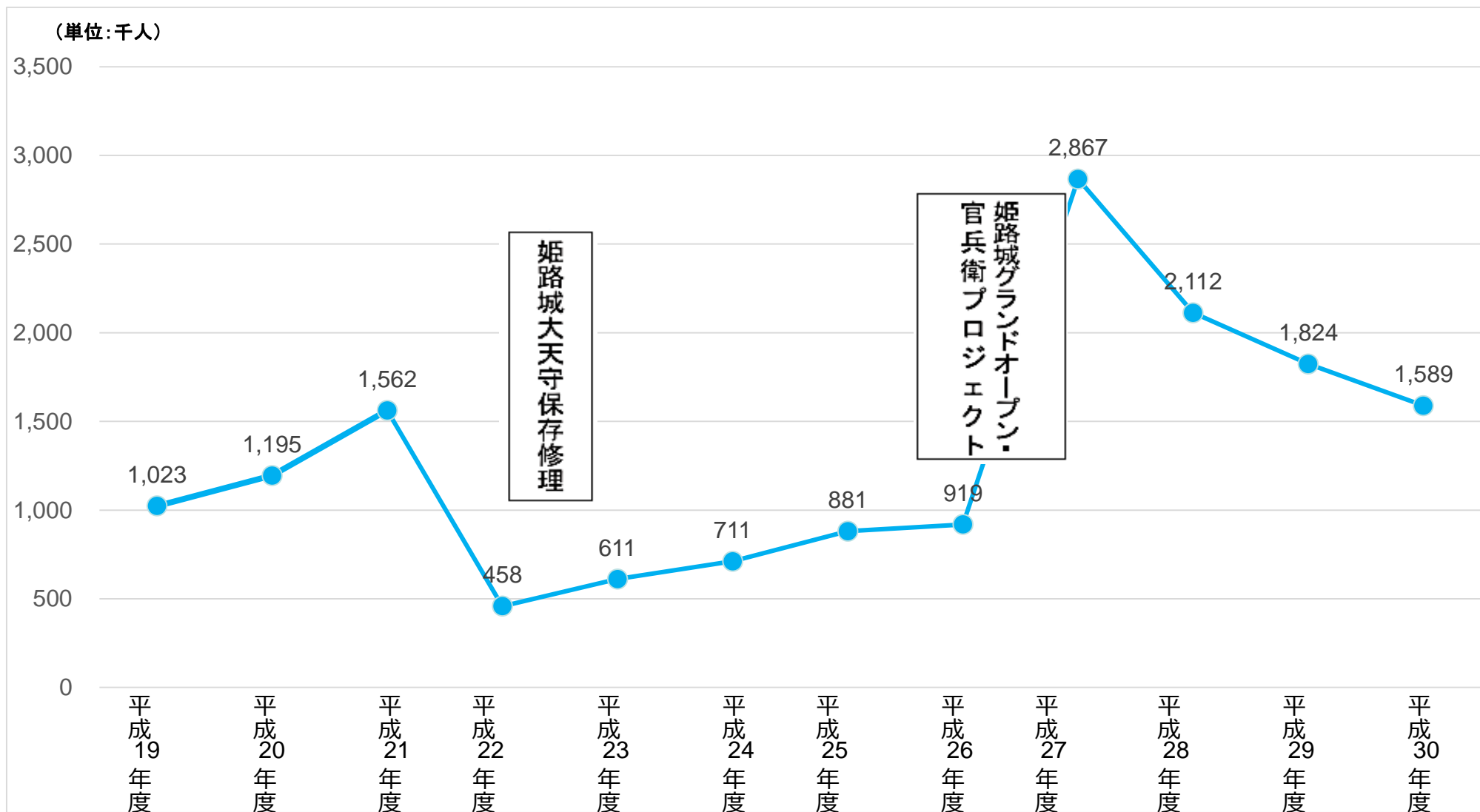
姫路市観光交流局観光文化部 観光企画課

# 姫路市総入込客数の推移

(単位：千人)

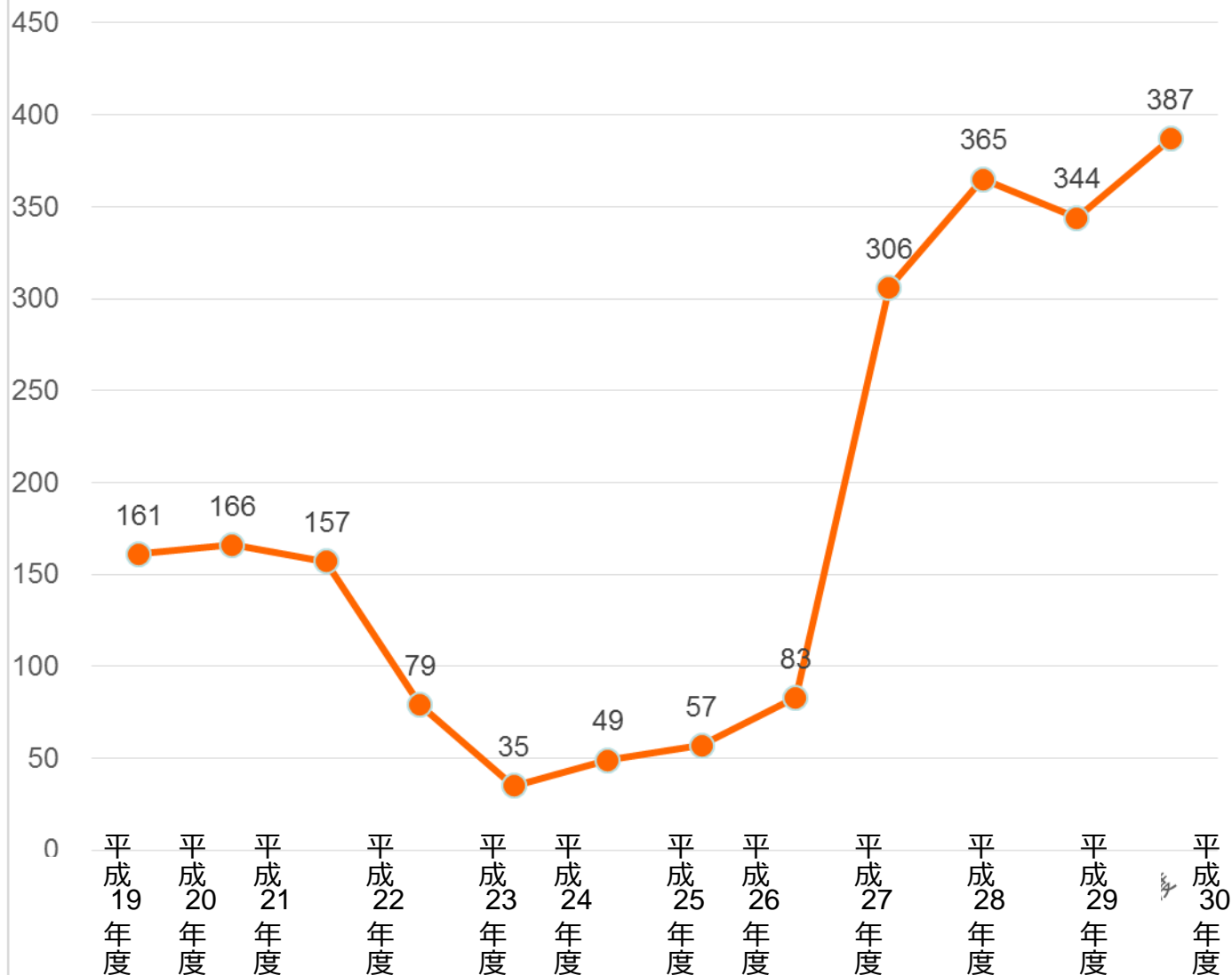


# 姫路城入城者数（全体）の推移



# 姫路城入城者数（外国人）の推移

（単位：千人）



・平成30年度は過去最多を記録  
（21年度から約2.5倍）  
（29年度比112.5%）

【参考】

平成29年度関空外国人入国者数  
7,503,275人

# 姫路市観光案内所での外国人観光客対応者数

平成30年度 外国人対応者数 27,591人 【参考】日本人問い合わせ件数 55,699件

## 外国人対応者数上位10ヶ国（地域）

1位	2位	3位	4位	5位
台湾 2,601人	フランス 2,334人	スペイン 1,711人	アメリカ 1,604人	オーストラリア 1,486人
6位	7位	8位	9位	10位
中国 1,246人	タイ 1,012人	イタリア 998人	ドイツ 874人	韓国 831人

平成29年度 外国人対応者数 28,489人 【参考】日本人問い合わせ件数 51,446件

## 外国人対応者数上位10ヶ国（地域）

1位	2位	3位	4位	5位
台湾 4,287人	フランス 1,819人	アメリカ 1,539人	スペイン 1,382人	オーストラリア 1,361人
6位	7位	8位	9位	10位
タイ 1,356人	中国 1,018人	韓国 1,013人	香港 823人	イタリア 713人

外国人主な問い合わせ内容（H30.10～H31.3） 上位5件

姫路城、交通機関、観光パンフレット、好古園、書写山

# 姫路市の観光施策

- 1 姫路城大天守保存修理事業に合わせた取組
- 2 官兵衛プロジェクトの推進
- 3 姫路城大天守グランドオープン



**観光施策（姫路城観光）の転換点**



# 観光戦略プランの位置づけ

姫路市

姫路市全体の行政方針  
**姫路市総合計画**



姫路市観光推進方針・戦略  
**姫路市観光戦略プラン**

観光客受入環境の充実・滞在型観光の推進  
インバウンド観光の推進・MICEの推進



施策連動

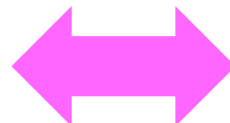
本プランとの主な関連計画  
姫路市文化振興ビジョン  
ひめじ創生戦略  
特別史跡姫路城跡整備基本計画  
姫路市都市計画マスタープラン  
姫路市経済振興ビジョン 等

国

観光立国推進基本法に基づく  
観光立国推進基本計画

関西

関西観光・文化振興計画  
KANSAI国際観光指針



連携・協力

兵庫県

21世紀兵庫長期ビジョン  
ひょうごのビジョン・計画  
ひょうごツーリズム戦略

# 姫路市観光戦略プラン

## 策定の背景（目的）

○姫路市の観光を取り巻く状況の変化

○姫路市文化コンベンションセンターの建設

○ゴールドンスポーツイヤーズの開催

⇒ 文化やスポーツ、産業等の多様な資源が本市の魅力となり、次代の観光を担う資源となる

⇒ 観光は人やものの交流を生み出す本市の経済活性化と都市成長に欠かせない分野



**変化し続ける観光の情勢をしっかりと分析し、  
戦略的な観光施策を進めていく必要性**

# 姫路市観光戦略プラン

## 基本テーマ

「観光を通して、愛し愛されるまち 姫路」

## 計画期間

平成29年（2017年）4月～令和3年（2021年）3月 5カ年度

## 数値目標

- |   |              |       |           |
|---|--------------|-------|-----------|
| 1 | 姫路市総入込客数     | 年間    | 1,000万人以上 |
| 2 | 姫路城の外国人入場者数  | 年間    | 40万人以上    |
| 3 | 市内宿泊施設の客室稼働率 | 概ね月平均 | 70%以上     |

# 姫路市観光戦略プラン

## 基本政策（施策）

### 1 観光客の受入環境の充実

- ・都市のホスピタリティの向上
- ・来訪者の利便性の向上

### 2 滞在型観光の推進

- ・都市部の魅力を活かした都市型観光の推進
- ・広域観光の推進      ・イベントによる魅力の創出
- ・地域の魅力を活かした滞在型観光の推進
- ・魅力ある観光資源の開発、P R      ・観光産業の育成

### 3 インバウンド観光の推進

- ・外国人観光客の誘致      ・外国人観光客へのおもてなしの充実
- ・東京オリンピック・パラリンピック姫路プロジェクトの推進

### 4 M I C E の推進

- ・国内外からのM I C E 誘致
- ・M I C E 開催地として選ばれやすい環境づくり

## 基本政策を進める 推進エンジン

- ① **東京オリパラ**
- ② **スポーツ・文化**
- ③ **グローバルな視点**

# グランドオープン後の新たな取組（主な観光施策）

姫路市観光戦略プランに基づいて、令和元年度は、5つのテーマに沿って、施策を展開しています。

**1 滞在型観光の推進**

**2 シティプロモーションの推進**

**3 MICEの推進**

**4 世界遺産コンウィ城との交流推進**

**5 特別史跡姫路城跡の文化的価値の活用**

# 滞在型観光の推進

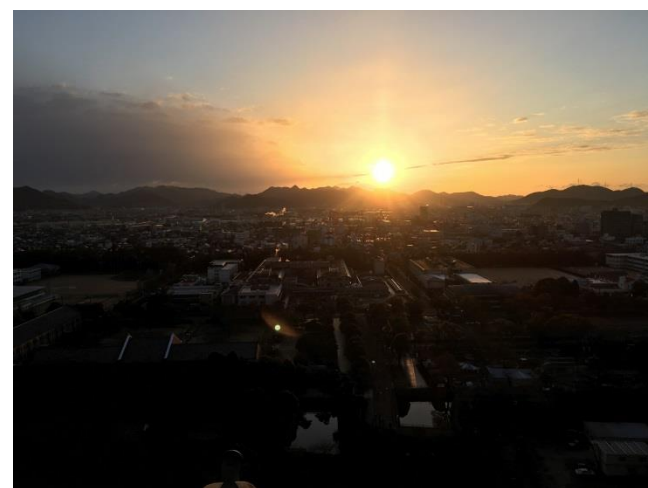
姫路駅周辺の宿泊施設の環境が変わる中、食や体験メニューの充実等、本市における滞在型観光を進める施策を展開します。

## 〈取り組み例〉

- ・ **夜間公開イベント**や**朝型観光**、**特別公開**などを通じ、姫路城を拠点とした着地型旅行商品の検討・実施。
- ・ 姫路城を中心に食や体験などの多様な要素を観光資源として活用する「**姫路城プラスワン**」**作戦**を推進。
- ・ 広域観光周遊ルート「**美の伝説**」や「**せとうち・海の道**」等における**広域連携プロモーション**の実施。
- ・ **インセンティブツアー**、**クルーズ**、**教育旅行等**の大規模集客の受け入れ環境の充実、積極的な誘致活動を展開。
- ・ **姫路城入城券の前売り**をはじめ、姫路城内の案内などのサービスの一体的な管理運営を図る。



姫路城夜間公開イベント



姫路城天守閣からの日の出

# シティプロモーションの推進

ゴールデン・スポーツイヤーズや大阪・関西万博を好機と捉え、姫路の魅力を国内外に積極的に発信します。

〈取り組み例〉

- ・ **ラグビーW杯や東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ関西**を好機と捉え、姫路の魅力ある観光資源を国内外に積極的にPR。
- ・ オンライン旅行社を活用し、宿泊客数の増加に向けた誘客プロモーションを兵庫県と共同で展開。
- ・ 訪日外国人観光客への訴求性の高い**体験プログラム**を効果的に発信。



インバウンド向け姫路・はりま体験メニューパンフレット



書写山圓教寺での座禅体験



関空利用による岡山・兵庫FIT誘客FAM



# MICEの推進

姫路観光コンベンションビューローや民間事業者等と一体となって、地域への経済波及や都市の活力創出に効果の高いMICE誘致を進めます。

## 〈取り組み例〉

- ・ **2021年秋**に開館予定の「**姫路市文化コンベンションセンター**」のPRや催事の誘致活動を積極的に実施。
- ・ 「姫路MICEセミナー」を定期的に行き、MICEに関係がある市内事業者へ広く周知、開館に向けた機運を醸成。
- ・ 姫路城や文化施設等を、特別感や地域特性を演出できる会場（ユニークベニュー）として活用する「**ユニークベニューHIMEJIプラン**」を推進。

## 〈ユニークベニューHIMEJIプラン使用イメージ〉

- ・ 学会の学術会議、各種大会のレセプションパーティー
- ・ 企業の周年記念式典      ・ 新製品の製作発表会      など



姫路市文化コンベンションセンター



姫路城三の丸広場でのレセプションパーティー



2018.7  
Start!

# ユニークベニユールHIMEJIプラン

姫路城、美術館や好古園などの歴史的、景観的に価値のある施設をユニークベニユールとして設定。



**Japan.**  
Meetings  
& Events  
*New ideas start here*



姫路文学館



姫路市立美術館



好古園



姫路城三の丸西高台



姫路城三の丸広場



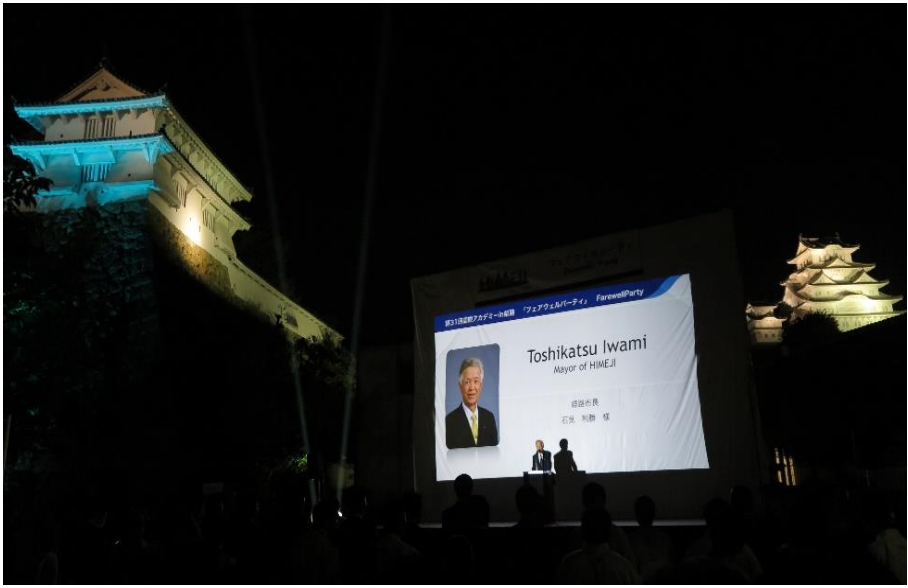
姫路城二の丸広場



姫路城三の丸大柱前広場



# 会場風景 第31回 国際アカデミー in 姫路 フェアウェルパーティ



# 世界遺産コンウィ城との交流推進

国際交流都市として、姫路城と英国・北ウェールズの世界遺産コンウィ城との相互交流を深めます。

〈取り組み例〉

- ・ **世界遺産コンウィ城**との姉妹城（友好城）提携の締結を目指し協議を進めます。
- ・ 観光、文化、教育、スポーツなど、多彩な分野において、コンウィとの相互交流を深めます。



コンウィ城  
(写真: Visit Wales / 英国ウェールズ政府)



友好関係構築に向けた覚書を交わす両首長  
(平成30年7月)



# 特別史跡姫路城跡の文化的価値の活用

姫路城の保存継承とあるべき姿の創出を目指すとともに、姫路城の新たな価値を広く国内外に発信します。

## 〈取り組み例〉

- ・ 特別史跡姫路城跡整備基本計画（令和3年度改訂予定）等に基づき、姫路城を起点とした周遊性向上に寄与し、多くの観光客が利用できる**休憩施設整備**の検討。
- ・ 「**リビングヒストリー**」（**生きた歴史の体験プログラム**）の作成に取り組むなど、姫路城の保存活用を通じ、姫路城の新たな価値、文化、歴史を広く国内外に発信。



休憩施設整備



姫路城西の丸・化粧櫓内部





ご清聴  
ありがとうございました

